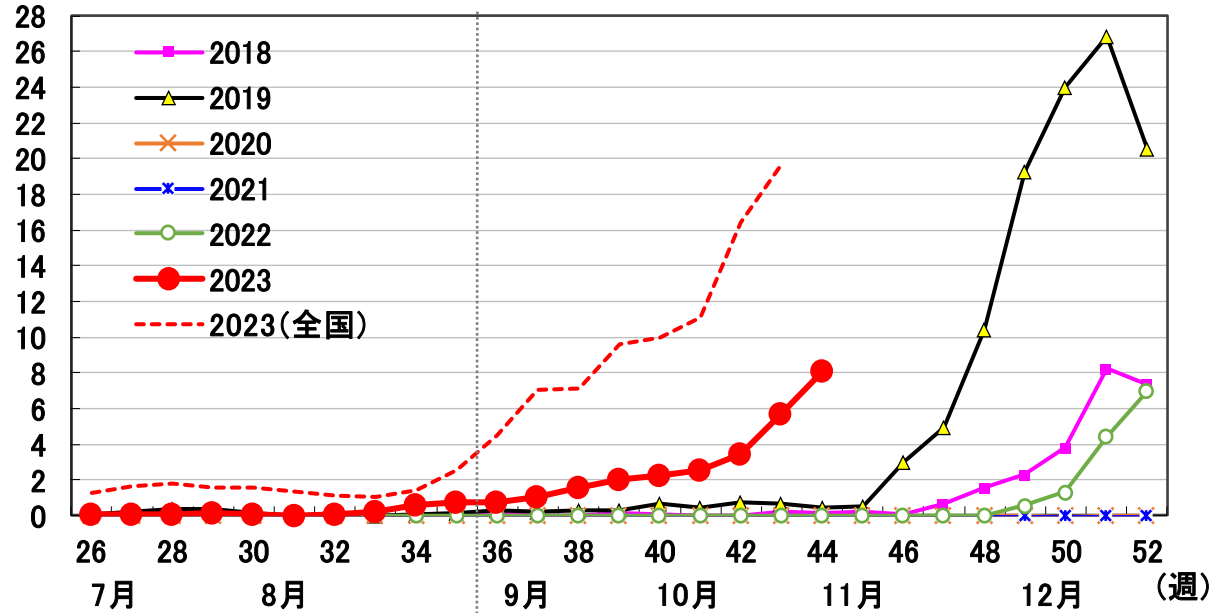


# インフルエンザの発生状況(富山県)

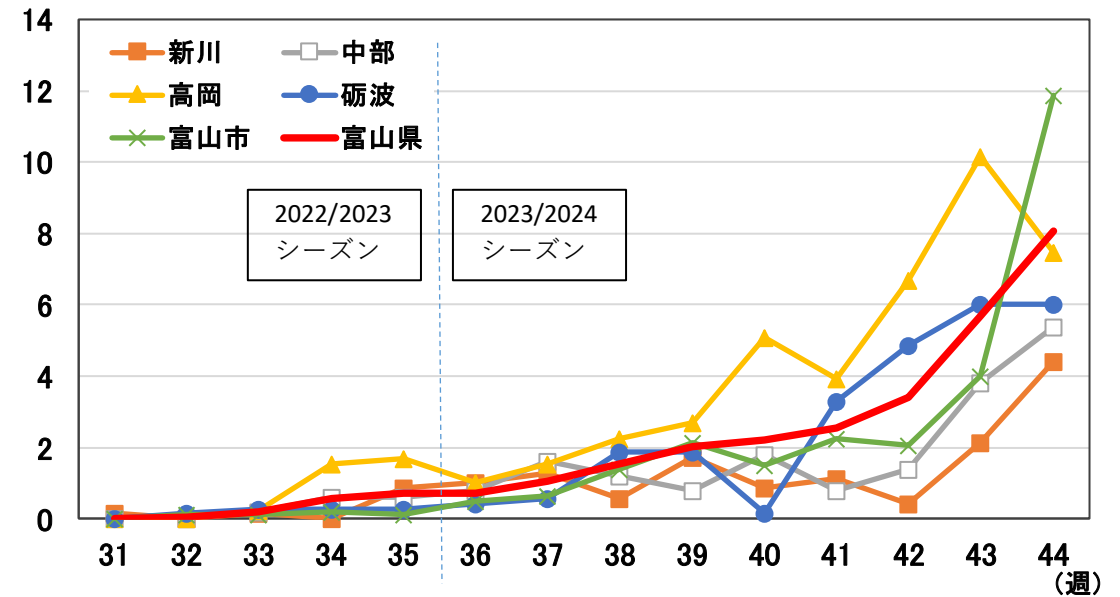
【第44週(2023/10/30~11/5) 感染症発生動向調査速報値 (2023/11/8時点)】

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)



(人/定点) 図2. 厚生センター・保健所別患者報告数(2023/2024)



- 富山県の患者報告数は今週（第44週）8.06人/定点となり、第36週から第42週までと比較し、第43週以降増加の割合が大きくなった。
- 厚生センター・保健所別に見ると（図2）、富山市、中部、新川管内で先週より増加した。特に富山市管内では今週11.88人/定点となり、注意報レベルの目安である10人/定点を超えた。

図3. 年代別割合(富山県、第44週)

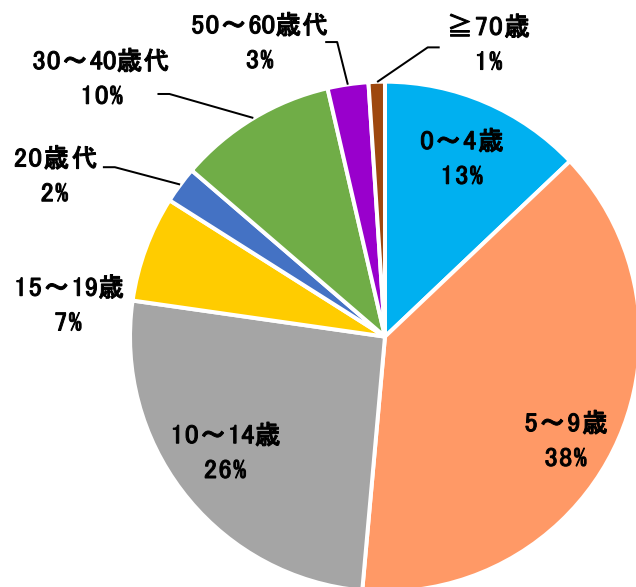
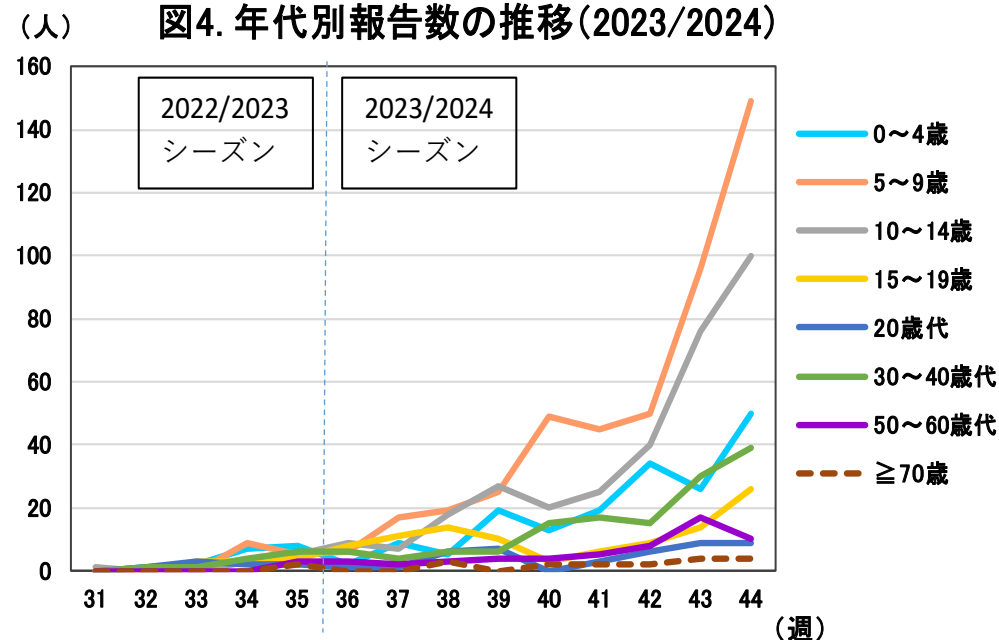


図4. 年代別報告数の推移(2023/2024)



- 富山県の第44週の年代別割合(図3)では、15歳未満の小児が77%を占め、中でも5~9歳が全体の38%を占めた。15歳未満の割合は第43週は73%、第44週は77%と、大きな変化はない。
- 年代別報告数の推移(図4)では、5~9歳(橙)、10~14歳(グレー)で先週に引き続き大幅に増加した。また、0~4歳(水色)、30~40歳代(緑)、15~19歳(黄)においても増加がみられた。
- インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等は第44週に8施設(小学校6施設、中学校1施設、高等学校1施設)で報告があった。

富山県インフルエンザ関連情報HP : <https://www.pref.toyama.jp/120507/kurashi/kenkou/iryuu/kj00007295.html>

図5. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第43週)

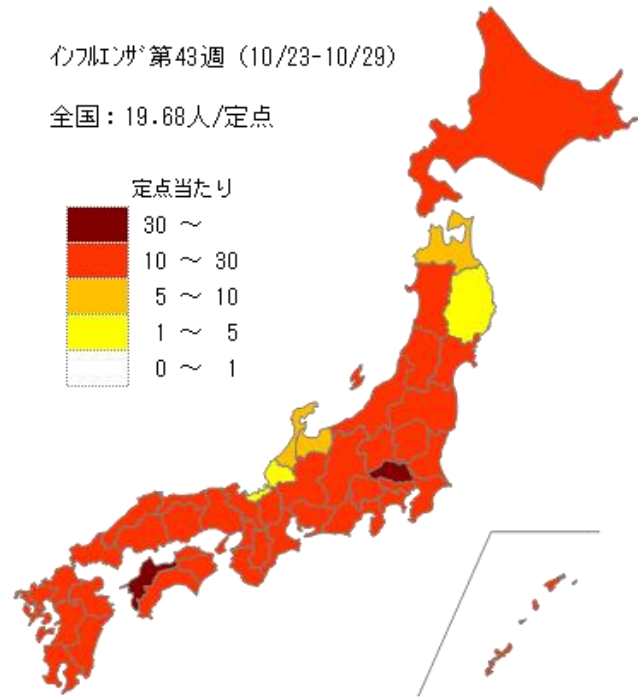
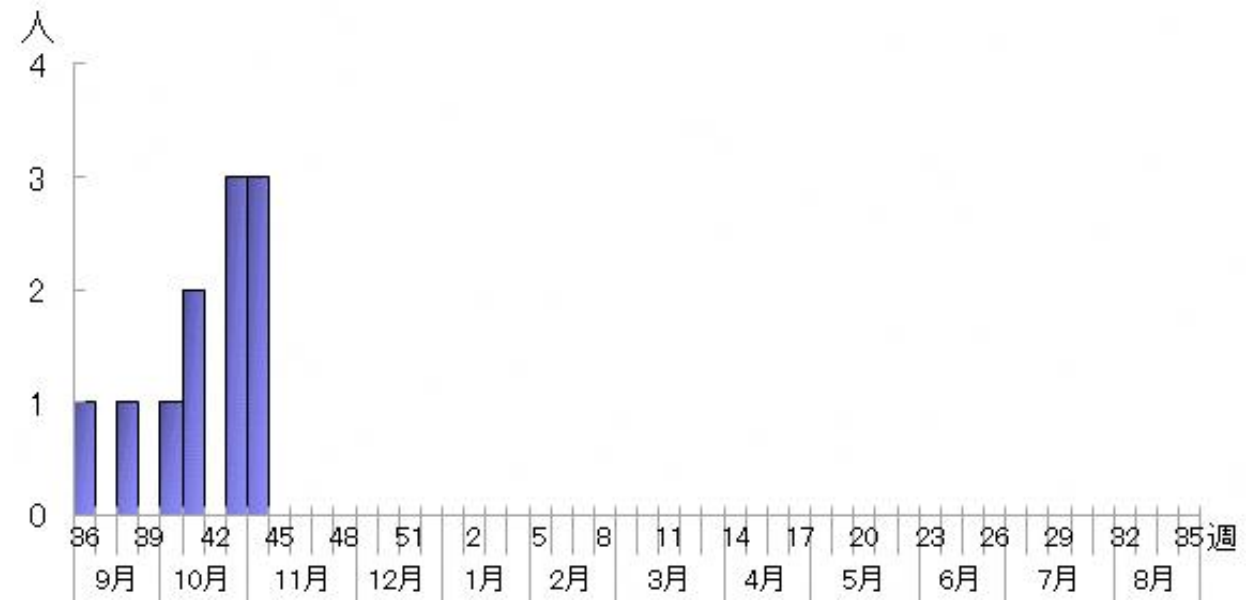


図6. インフルエンザ入院患者報告数(第44週)



- 全国では第43週に19.68人/定点となり、第42週（16.41）から更に増加した。都道府県別（図5）では、42都道府県で注意報レベルの目安である10人/定点を超えている。また、その内2県で警報レベルの目安である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図6）では、第44週に3例の報告（5～9歳：1例、80歳代：2例）があった。
- 今シーズンは、例年より早期にインフルエンザの流行が認められた。患者数の増加傾向が続いており、今後の発生動向を注視する必要がある。